

PMDA 医療安全情報

(独)医薬品医療機器総合機構

pmda 臨時号No.1 2020年 4月

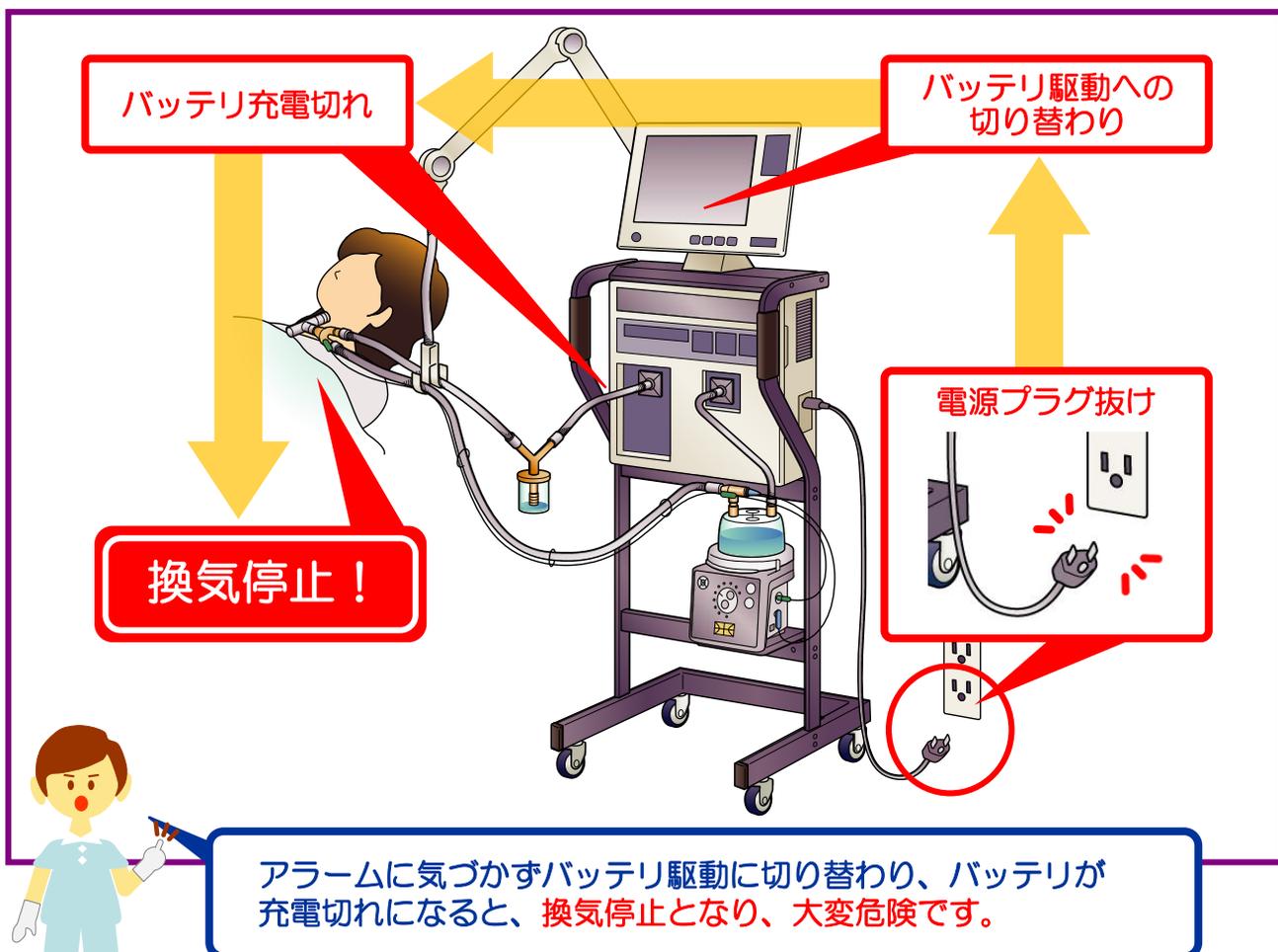
再周知特集 その1 (人工呼吸器等の取扱い時の注意について)

新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴い、医療現場で人工呼吸器等を使用する機会が増えています。これまでのPMDA医療安全情報から、人工呼吸器等の取扱いにおいて、安全使用のために注意するポイントをまとめました。

(事例1) 人工呼吸器を使用中、気づかぬうちにバッテリー駆動になっており、バッテリー切れアラームが発生し、換気が停止した。確認するとコンセントから電源プラグが抜けていた。

1 使用中の電源に関する注意点について

- 人工呼吸器を使用中には、AC電源が供給されていることをインジケータなどの表示で常に確認すること。



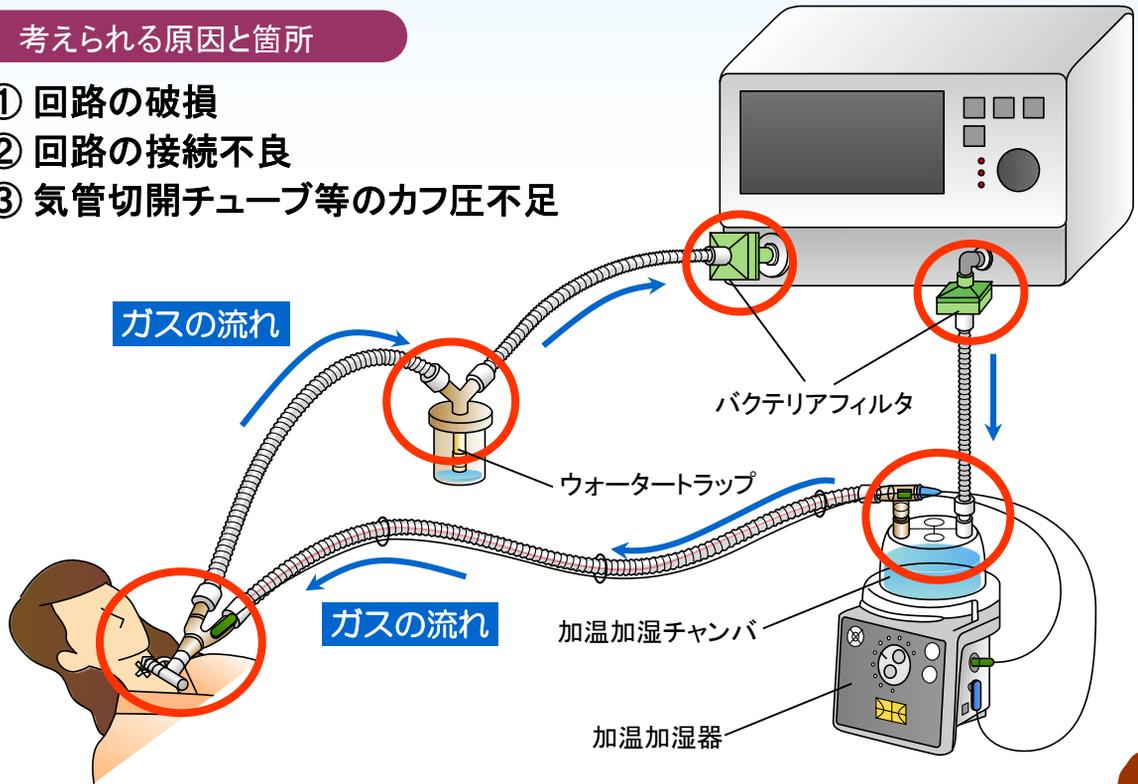
(事例2) 人工呼吸器のアラームが鳴り、患者さんはチアノーゼ状態であった。ウォータートラップのカップを取り付け直すと呼吸状態が改善した。

2 低圧アラーム発生時の留意点について

- 低圧アラームや低換気アラームが鳴った時は、回路からのガスリークが考えられます。

考えられる原因と箇所

- ① 回路の破損
- ② 回路の接続不良
- ③ 気管切開チューブ等のカフ圧不足



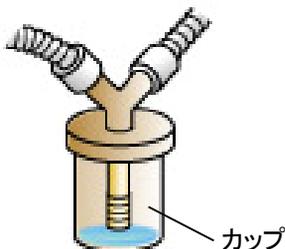
「不確実な接続」、「誤接続」、「蛇管の亀裂やチャンバの破損」などに十分注意してください。特に、ウォータートラップは見落としがちです！

ウォータートラップからのガスリーク



ウォータートラップからの水抜き後は、必ずカップが確実に接続されているか確認しましょう！

不確実な接続の事例

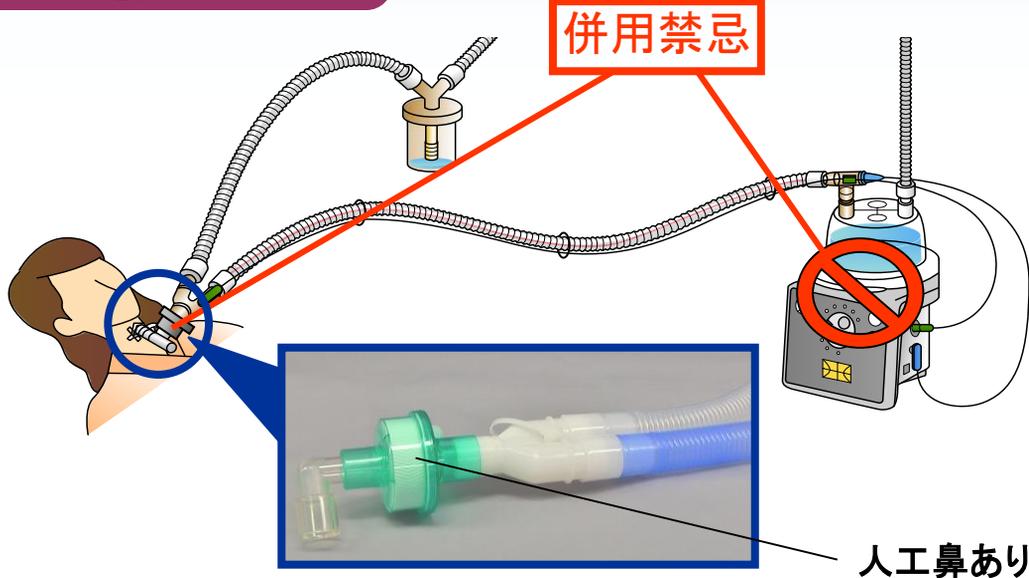


(事例 3) 人工鼻による人工呼吸管理を行っていたが、加温加湿器に変更する際に、人工鼻をつけたまま、加温加湿器を接続した。

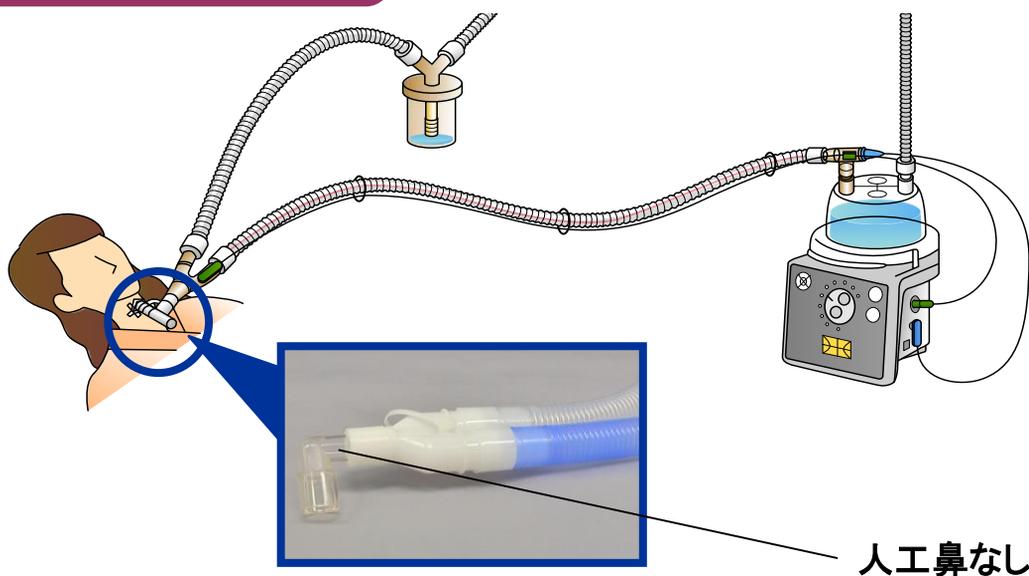
3 人工鼻と加温加湿器の併用禁忌について

- 人工鼻と加温加湿器は併用しないこと。
- 人工鼻とネブライザは併用しないこと。

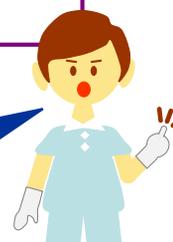
人工鼻を使用した場合



加温加湿器を使用した場合

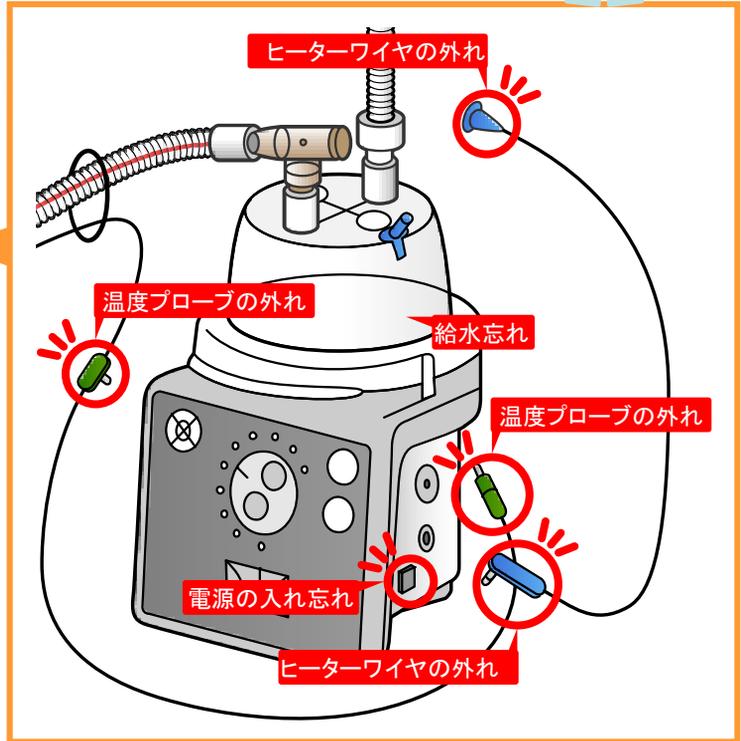
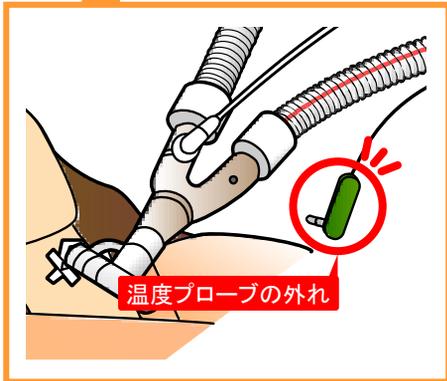
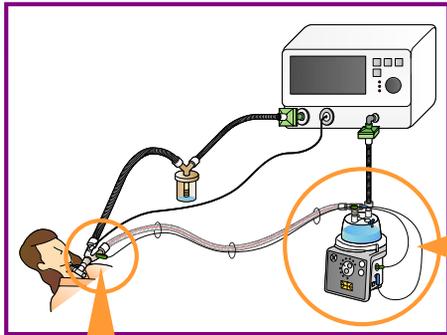


人工鼻と加温加湿器やネブライザなどを併用すると、過度の吸湿により人工鼻が閉塞し、患者さんの換気が困難となる恐れがあります！



4 繰り返し報告されている加温加湿器の事例

人工呼吸器に関連したヒヤリ・ハット事例等では、
加温加湿器に関する事例が、多く報告されています。



関係学会から出されている新型コロナウイルス感染症に関する
ガイドライン等もご確認ください！



この「PMDA医療安全情報 再周知特集」に関連したPMDA医療安全情報もご参照ください。

- PMDA医療安全情報No.7 「人工呼吸器取扱い時の注意について（その1）」
- PMDA医療安全情報No.11 「人工呼吸器取扱い時の注意について（その2）」
- PMDA医療安全情報No.20 「人工呼吸器取扱い時の注意について（その3）」

本情報の留意点

- * このPMDA医療安全情報は、公益財団法人日本医療機能評価機構の医療事故情報収集等事業報告書及び医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律に基づく副作用・不具合報告において収集された事例の中などから、独立行政法人医薬品医療機器総合機構が専門家の意見を参考に医薬品、医療機器の安全使用推進の観点から医療関係者により分かりやすい形で情報提供を行うものです。
- * この情報の作成に当たり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。
- * この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課したりするものではなく、あくまで医療従事者に対し、医薬品、医療機器の安全使用の推進を支援する情報として作成したものです。

どこよりも早くPMDA医療安全情報を
入手できます！
登録はこちらから。

